

2018年12月号

ほくし

発行所

一般社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

学術講演会

支台築造に関する Up-to-date な見解
 臨床家のための接着に関する知識と術式
 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座
 クラウンブリッジ補綴学分野(歯科補綴学第二教室)

峯 篤史先生

H30.9.10



関西を襲った巨大台風の名残を残す九月一〇日(月)夕刻に、梅田の大阪市立生涯学習センターにて、北区歯科医師会の学術講演会が開催されました。

今回登壇して頂いた峯篤史先生は、大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野(歯科補綴学第一教室)にて助教を務められており、数多くの学術論文を執筆されています。研究テーマは接着歯学関連が主で、その長きに渡る研究成果から一般臨床に役立つ接着を用いた支台築造法の現在における見解についてお話頂きました。

講演の流れとしては、

支台築造のステップが①歯質の残存量を鑑みた診断②ポストの形態、有無、分割コアなどの選択を考慮した形成③直接法もしくは間接法による印象採得④コア材料、ポストの種類、装着材料の選択⑤接着方法を考えた装着の五つのステップに別れていると説明して頂き、講演を通して、それぞれのステップに対して、研究成果を用いてわかりやすく説明していただくというものでした。

二〇一二年の歯科疾患実態調査では、歯内療法後の重度歯冠部欠損症例においては、最も用いられるのがメタルコアという結果が報告されているが、二〇一七年の実態調査では、二〇一六年からファイバーポストが保険適用されたことにより、メタルコアが減少し、直接法が間接法よりも多くなっている傾向が見られると報告されている。峯先生の出身である岡山大学歯学部補綴科時代に、診療実績

が記録されている膨大な量のコアカルテと出会い、レジンコアの実際の臨床実績について調べるということが接着歯学の研究のきっかけであったということ、まずは、装着材料の違いで、メタルコアの生存に影響があるかという分析を行われ、パナビアとスーパーボンドでは、臨床結果は変化しないという研究結果を出された。また、コア材料の違いでは一五年間の前向き研究で、レジンコアが七八・二%で、メタルコアが四七・五%と大きな差が示され、脱離の原因となるリスクとして、支台歯の残存歯質の量が大きな影響を与えると示された。

最近行われている研究についてもいくつか紹介して頂き、特に興味深かったのは、歯冠部象牙質への接着と根管内の接着が異なるという考えから、根管内の接着破壊がどこで起こっているかを確かめるために、OCT光干渉断層法を用いたリアルタイムでの撮影が行われており、その貴重な映像を見せて頂いた。重合するため、光を歯冠部から当てるため、光から最も離れている根尖部の界面から接着剥離が起きると考えられていたが、実際の映像からは周辺象牙

質から剥離が起こっていることが発見できたとご説明頂いた。また、他の研究ではレジンコアの作製方法の違いで、辺縁漏洩が影響するかにについてマイクロCTを用いて比較したところ、直接法と間接法で差はなかったと報告されたが、臨床的には、直接法は、遠心部が目視しにくいことから、防湿が難しい場合には間接法を推奨された。また、他の臨床上のテクニクとして、残存歯質が十分に残っている場合には、接着のエラーが起こるような長いポストが必要ないということや、レジンコアのポスト材料としては、ファイバーでも既製金属ポストでも臨床的な生存率は変わらないとご教授いただいた。

接着ブリッジと従来法のブリッジの一五年の予後が変わらないという研究結果も出てきており、予後まで考えた広い視野をもった臨床では、この接着歯学の発展が欠かせないものであるとお話され、また、接着歯学は、歯を削る量を減らす学問であり、歯を守る学問でもあると何度も熱弁され、現代の歯科治療の変革を感じられる心に響く講演であった。

(学術部・須田剛義)

パノラマ

日歯による「歯科医療に関する一般生活者意識調査」の今年の結果が出た。三割の人が歯科の定期健診を受けており六割の人が「かかりつけ歯科医」がいる、と回答している。痛い時にだけ歯医者に行くという認識から何もなくても受診し長く自分の歯を残していきたい、という予防意識が高まっていることを再認識する結果となった。その傾向は高齢者になるほど顕著にみられ、今後加速する少子高齢化を見据え、我々もそのニーズに応えるべく環境づくりと体制を整えていかねばならない。とはいえ、常態的にスタッフの確保に四苦八苦し、理想と現実のギャップに日々頭を悩ませているのが現状だ。外国人労働者の受け入れ拡大に向けた出入国管理法改正案が議論されているが、我々にも他人事でない日がすぐそこに来ているのではないだろうか。来るべき二〇一九年は平成最後の年となります。大阪万博開催決定と、明るい話題が増える中、歯科業界にも明るい展望が開けることを期待し、次の年号を迎えたいと思う。(K)

医療管理講演会

H30.8.29

八月二十九日(水)、午後七時三〇分より東急REIホテルにて、講師に社会保険労務士法人fulfill代表・中田圭子先生をお招きし、



医療管理講演会が開催されました。

大塚会長の挨拶で始まり、演題『クリニックの人事労務管理―スキルアップのための厚労省助成金―』を講演していただきました。

講演内容は、たくさんの方の助成金がある中で、正社員化を支援する「キャリアアップ助成金」、働く人の健康やワークライフバランスを確保する「職場意識改善助成金」、未経験者の雇用を支援する「特定求職者開

大阪府済生会中津病院・大阪北区歯科医師会共催勉強会

H30.10.23



大阪府済生会中津病院口腔外科部長の西川典良先生の挨拶で始まり、演題「三叉神経痛と周辺疾患について」をご講演いただきました。

講演内容は、三叉神経痛は有病率の高い疾患ではないが、多くの患者さんは虫歯と思いき、まず最初に歯科を受診する方が多いとの事で、三叉神経痛の症状、病態と臨床像、発生機序、診断、治療法等を症例、手術動画を混じえ三叉神経痛の概要を説明していただきました。

【三叉神経痛の症状】

・三叉神経分枝の支配域部位に、一秒〜百二十秒間の発作性の痛み(ほとんどが数秒)

・「電気が走るような」激痛、鋭い痛み

・歯みがき、咀嚼、洗顔、お化粧、髭剃り等での誘発痛・就寝中に発作は出現しないこれらの症状にあてはまる方がいれば是非ご紹介いただければ、との事でした。最後に大塚会長のお言葉で閉会となりました。

参加者は会員二八名、他支部九名の計三七名でした。(担当理事・西川尚範)

大阪市生涯歯科保健推進事業報告

H30.11.8

十一月八日(木)、午前九時半より滝川幼稚園保育室ホールにて、大阪市生涯歯科保健推進事業の一環として、口腔衛生指導が行われました。

始めに、七六名の園児に対して講師の永井るみこ先生(大阪府歯科衛生士会)よりむし歯予防についての講話がありました。アンパンマンやバイキンマンも登場する楽しいお話に園児たちも釘づけでした。続いて、他二名の歯科衛生士も加わ

り、歯垢染め出し(年長児のみ)を行い、希望者にはフッ素塗布を行いました。(全園児対象)

次に、保護者を対象として地域医療部員でもありません同園医の石田憲嗣先生より歯科講話が行われました。歯周病専門医の立場から、「子どもたちが将来歯を失わないように親がしてやれること」という主旨で、示唆に富んだ講話をして頂きました。四六名の参加者から頂いた終了後のアンケートからは、口腔衛生に対する意欲向上が伺えました。(担当理事・中谷 徹)

大阪府歯科医師会役員と市内北部隣接七地区(北・大淀・此花・東淀川・淀川・西淀川・福島)役員との懇談会

H30.12.11

十二月十一日(火)、午後六時から本会大ホールに於いて、大阪府歯科医師会役員と市内北部隣接七地区役員との懇談会が開催された。

林正純府歯常務理事司会のもと、最初に太田謙司府歯会長が挨拶され、続いて、七地区を代表して森光示淀川地区代表が挨拶を行った。その後、府歯の出席者紹介が行われ懇談会に移った。懇談では、

一、医科歯科連携推進事業の現状と展望について(福島地区高瀬浩司地区代表より質問の趣旨説明)(津田高司常務理事、深田拓司専務理事より回答)

二、災害発生時における大阪府歯科医師会の対応と緊急時連絡網の整備について(東淀川地区堀田善史地区代表より質問の趣旨説明)(片岡宏之副会長より回答)

三、スポーツデンティスト

の現状と今後の展望について(淀川地区森光示地区代表より質問の趣旨説明)(太田謙司会長より回答)

四、後期高齢者医療歯科健康診査事業での記入不備の現状について(大塚会長より質問の趣旨説明)(津田高司常務理事より回答)

が行われ、それぞれ丁寧に回答をいただいた。詳しくは大阪歯会広報(新年号)を参照してください。その他として大阪府歯科医師連盟(巽久宜連盟理事長、大阪府国保組合(野井実親国保組合専務理事)、大阪府協同組合(本城範典協同組



会員懇親会

梅田でカジュアル
イタリアンを楽しむ

H30.10.24

一〇月二四日（水）、毎年恒例の会員懇親会が、ハービスプラザ地下二階にあるイタリアンレストラン「アンシャンテハービス梅田」で開催されました。何かとお忙しい中、三七名の多くの先生方にお集まりいただきました。

今年の懇親会場の選定には苦労しました。何回も試食会を繰り返し、最終的には昨年非常に好評だった大東洋と、アンシャンテの二つに絞られました。しかし「二年続けて同じ場所での開催はいかがなものか」と言う意見もあり、またイタリアン、フレンチ料理は今まで懇親会ではなかったこともあり、今年の懇親会場は「アンシャンテ」に決定



いたしました。

開催にあたり大塚会長の挨拶があり「週半ばの夜でお疲れの中、沢山の先生方にご参加いただきました。本日の店はカジュアルなイタリアン料理で、若い人や女性に人気のある店です。今後スタッフとの懇親会等にご利用いただけるかと思います。先生方にはイタリアンの雰囲気を楽しんでいただき、楽しい懇親会になりますことを祈念いたします。」と述べられた。その後、黒川森夫先生のご発声で乾杯を行い、懇親会が始まりました。各テーブルでは仕事の話、趣味の話などで盛り上がり、楽しい懇親会なら



ではの雰囲気になってきました。お料理は季節の前菜五種盛りに始まり、海老のアービージョ、茶美豚チヨリソーとホワイトアスパラガスの洋風天ぷら、ピッツァアビスマルク、鴨胸肉のロースト、などカジュアルなイタリアンとはいえ本格的な味でした。

あっという間に閉会の時間となり、野口副会長の閉会の挨拶で懇親会は終了いたしました。今年ご出席いただいた先生方本当にありがとうございました。

（担当理事・國田浩之）



訃報



島田惣四郎先生(班外)

二〇一八年八月二十三日死去

御略歴

大正十一年十二月三日生
昭和一八年
大阪歯科医学専門学校卒業



安田昭二先生(九班)

二〇一八年十月十二日死去

御略歴

昭和八年二月五日生
昭和三五年
大阪歯科大卒業
(診療所)
藤田歯科医院
小松原町一―二七ウメダエ
ビスビル七階



北歯ゴルフ同好会秋季コンペ

H30
10.8

一〇月八日(日)、北歯ゴルフ同好会の秋季コンペが、伏尾ゴルフ倶楽部で開催されました。

今回参加者はメンバー十一名に加え、ビジター三名の計一四名でした。

当日は秋晴れのいい気候のなかで、大淀歯科医師会からは松井重文先生、薬剤師会から草分孝子先生を迎え、楽しくひとときを過ごすことができました。

成績は林伸至先生が春季に続き連覇で優勝、バスグロも取りました。草分孝子

先生が二位となり、松井重文先生が三位という結果になりました。

次回の春季コンペは二〇一九年四月一四日(日)、西宮高原ゴルフ倶楽部にて開催予定です。

和気あいあいと活動しておりますので、初心者の方でもお気軽にご参加お待ちしております。尚、ゴルフ同好会への入会を希望される先生は、土岐一仁先生または、北歯事務所までご連絡お願い致します。

(樋口夏彦記)

平成30年度・北歯ゴルフ同好会秋季コンペ成績表

RANK	NAME	東	西	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	林 伸 至	40	41	81	7.0	74.0	4
準優勝	草 分 孝 子	57	52	109	31.0	78.0	24
3位	松 井 重 文	45	44	89	9.0	80.0	8
4位	矢 追 秀 純	49	46	95	14.0	81.0	
5位	水 沼 和 夫	58	62	120	39.0	81.0	
6位	橋 本 收	48	46	94	12.0	82.0	
7位	西 川 亨	49	46	95	11.0	84.0	
8位	大 塚 俊 裕	53	50	103	16.0	87.0	
9位	橋 本 哲 志	48	49	97	10.0	87.0	
10位	野 口 秀 夫	47	53	100	12.0	88.0	
11位	樋 口 夏 彦	52	61	113	23.0	90.0	24
12位	吉 田 皓	48	54	102	9.0	93.0	10
13位	高 麗 誠 紀	61	56	117	19.0	98.0	20
14位	三 輪 佳 子	90	79	169	61.0	108.0	63

※北歯コンペは、同ネットの場合の順位はハンディ上位、年齢上位、女性上位の順で決定します。敬称略／順不同



新入会員

5班・辻 一敬先生

(大阪歯科大・平成九年卒)



(診) 辻歯科医院

天神橋四―八―八平
川ビル二階

9班・西川 典良先生

(愛知学院大・昭和五七年卒)



(診) 大阪府済生会中津病院

芝田 二〇一三九

編集後記

今年は、地震、台風と災害の多い年でした。来年は平成から年号が変わり、消費税も一〇%に引き上げられます。どのような年になるでしょうか？